



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：(03) 3541-5151

担当者の所属・氏名 宮本 舜也

(代理) 高嶺 翔大

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 宮本 舜也

当院の新生児集中治療室 (NICU,GCU) に入院された方を
対象とした胸腹部ポータブルX線検査に際する被ばく線量適
正化に関する研究

1.研究の対象

2021年4月～2021年12月、2022年3月～2023年2月に胸腹部ポータブルX線撮影を行ったNICU,GCUの入院患者

2.研究の目的・方法

乳児の胸腹部ポータブルX線撮影において、診断に有用な画像提供のための画質の最適化と被ばく線量の最適化を目的としています。

当院において、線量の設定を変更する前と後の期間の診療録のデータを確認・比較する方法をもって、より最適な検査の実施を目指しております。

この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年9月15日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- ・体重
- ・胸腹部ポータブルX線画像 等